

茨城県小美玉市立玉里東小学校 (学校長 額田 光博)

実施日	平成19年10月30日(火)	時間	午前9時30分～午後1時30分
実施場所	音楽室	対象/人数	1～6年生69名
担当教諭	鳥羽田 ゆう子	ファシリテーター	菊地 方美
講師	オレリアン パロン(フランス 県国際交流員)		

活動内容

3グループ(1・2年生/3・4年生/5・6年生)に分かれて、フランスの紹介・お話を聞く

質問タイム
交流給食

児童の感想

・フランスが日本から遠いと分かりました。最後にギターを持って出てきたのがおもしろかったです。

・わたしが一番心に残ったことは、オレリアン・パロンさんが、ギターを持って音楽に合わせて動き回りながら歌っていたことです。フランスの人とは初めてふれあったけど、楽しくてたくさん笑ってしまいました。次のワールドキャラバンはこの国の人とふれあえるのが楽しみです。

・オレリアン・パロンさんが、自分の家や住んでいる町を紹介してくれました。パロンさんの住んでいる村は、人口2千人足らずだそうです。スクリーンに映された映像にも全然人はいませんでした。フランスにもいろいろなところがあるんだなと思いました。

・フランスのことをおもしろく教えてもらいました。エッフェル塔、モナリザ、凱旋門などのことがよく分かりました。最後にギターをもってパフォーマンスをしてくれました。フランスはおしゃれなイメージがあったけど、ちょっとおもしろい国なのかなあと感じました。日本のことも教えたいと思いました。

・ワールドキャラバンを体験して楽しかったです。フランスの位置や建築物、食べ物などについて、写真や映像で分かりやすく教えてもらいました。にせギターのパフォーマンスは本当におもしろかったです。給食も一緒に食べ、よい思い出になりました。

先生の感想

・講師の先生が資料をたくさん準備し、楽しくお話を下さり、有意義であった。フランスという国への関心が高まったと思う。

・ALT以外にも外国の方と接する機会があることはよいことだと思う。パロンさんが楽しく教えてくれたので、とても親近感もてて子どもたちは

真剣に話を聞くことができた。短い時間ではあったがよい体験になった。

・今年は給食での交流もあり、子どもたちはとても楽しかったようだ。パロンさんは、給食時にもいろいろな話題を提供して下さったり、質問にもていねいに答えて下さったりと、子どもたちは、コミュニケーションをとる楽しさを味わったようだ。

・ワールドキャラバンで、毎年違う国の方と交流できることはよいと思う。これからも内容を検討しながら続けていくことによって、国際理解が深まっていくと思う。

成果と課題

・昨年同様に低学年、中学年、高学年という3部にわたって少人数で実施したので、講師の先生を身近に感じ、発達段階に応じてフランスのことについて理解を深めることができた。

・ワールドキャラバンも5回目となり、児童たちも外国の方と交流するのを楽しみにしていて、自らフランスのことを調べて参加する子が多かった。

・講師の先生と給食を一緒に食べることにより、講師の先生に積極的に話しかける姿が見られた。和やかな雰囲気の中で、フランスについての知識を得るだけでなく、コミュニケーションをとることができた。

・今回は、クイズやゲームなどで講師の先生とふれあう時間が少なかったため、次回は活動内容や時間配分を検討し、より充実したものにしたい。

